

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

## 2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(3/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
つくば国際戦略総合特区 (茨城県、つくば市、国立大学法人筑波大学)	正	4.3	4.5  進捗度 ・産学官連携による新規プロジェクトの創出数 90%  ・市場に本格投入する生活支援ロボットの種類 220%	3.6  規制の特例等 ・薬事法第12条(製造販売業)、第13条、第24条(販売業)の許可に係る特例措置等  財政支援等 ・次世代がん治療(BNCT)の開発実用化等  地域独自の取組 ・ロボットスーツ治験事業等	4.5	<p>・つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)を中心とする幅広い事業での規制緩和の活用等が進められており、新規プロジェクト創出、ロボットの市場投入で大きな成果を上げている。</p> <p>・財政、税制、金融支援に関して活用実績が少ないが、成果が出るまでに時間のかかる事業が多く、市場での普及まで持続可能となるように、これらの支援措置の活用に対する努力が必要とも思われる。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。